

(WEB掲載用)

令和6年度 港まちづくり協議会「アート等関連事業実施・運営業務委託」に係る公募型プロポーザルの結果について

本プロポーザルは、審査委員会により、提案書及びプレゼンテーションを総合的に評価して、事業候補者を選定しました。

審査の結果は以下のとおりです。

## 1 経緯

令和6年7月21日：第1回審査委員会

令和6年8月9日：参加表明書提出期限

令和6年9月13日：提案書提出期限

令和6年9月23日：第2回審査委員会

## 2 参加者総数

3者

## 3 審査結果（事業候補者）

株式会社ターニング・ポイント

## 4 事業候補者の提案書

(添付ファイル)

## 5 審査講評

事業のわかりやすさを取るか、これまでの継続性を取るかで、非常に難しい判断となったが、慎重に審議した結果、最終的に株式会社ターニング・ポイントの提案を採用することとした。

株式会社ターニング・ポイントの提案については、コンテンツが多く、熱意があるのはよいが、企画に統一感がないことや、内容が多すぎるのではではないかということ懸念する意見があった。しかし、企画内容には具体性があり、子どもも参加できて、地域内外から人を呼び込め、街の活性化につながるのではないかという期待が高く、名古屋港と築地口をつなぐ回遊性をつくる継続事業の提案

も高い評価を受けた。ただし、提案を実施するにあたって、港まちに合う企画を意識すること、地域の方々との関係や交流を大事にすること、地域と協調して行うこと、企画のスケジュールは履行期間内に納めること、という意見が付された。

次点となった提案については、これまでこの地域で事業を継続し、アーティストと地域の交流を積み重ねてきた実績や発信力、企画を作り上げていく力が高い評価を受けた。

第3位となった提案については、地域の特徴を考えて提案した企画が評価された。

最後に、今回の提案書作成にあたり、多大な労力とともに熱意を持って取り組まれた3者に感謝申し上げる。

今後もこの地域のまちづくりに関心を持っていただくことを期待するものである。